

まごころ便り



平成 24年 9月 7日



土用入りから梅の塩漬けを日夜干し赤紫蘇に漬け込みました。早く食べたい！

今年の夏はとても暑い毎日でした。入居者の皆様に「水分をしっかり摂ってね」という職員の額には、汗が流れていました。

「のむとトイレに行かんといけんから…」と皆様水分摂取を拒まれますが、足湯後、体操後、入浴後(午後1回)は必ず水分を取っていただきました。

梅雨時に青梅が沢山入手できたので、今年も梅干し漬けを行ないました。今年の梅は大きいものも多く、毎日皆で梅を眺めながら唾液促進をし、「いつになったら食べられる?」と言い合っています。



夏祭りも暑い日でした。体調不良の方が何人かいらっしやいましたが、全員参加されてまごころ合唱隊の歌を聞かれ、皆さんと共に食事をし、輪投げや射的ゲーム、くじ引きを楽しまれました。くじ引きで大きな人形が当たった方は部屋に大事に飾られています。線香花火で昔を懐かしみ、炭坑節を踊って夏を乗り切ろうと発奮しました。

夏祭りも4回目の開催でした。入居者の皆さんも4つ歳をとられ、祭りの内容を変えて行かなくてはならないと考えています。



7月28日 第4回まごころの家 夏祭り



8月8日と29日に恒例になった‘そうめん流し’を行ないました。皆さん朝からワクワクされていました。午後から男性職員がそうめん流しの設置にかかると、食堂から眺めながら「楽しみじゃねえ」と喜ばれていました。食欲減退の方も食が進み、いつもは食べ残されるミニトマトも上手に挟まれて食べられていました。

午後から汗流して設置していた職員も皆さんの食欲と「ありがとう、楽しかった」の言葉を聞き、来年もやろう！と奮起していました。

入居者で来年3月で100歳になられる藤岡豊様が、山口県と山口市から長寿の表彰と敬老のお祝いといただきました。まごころの家で表彰されたのは藤岡様が初めてで、入居者様全員でお祝いをされました。皆様「元気に長生きしたいね」と言われ、お祝いの言葉を送られていました。

皆様、ずっと一緒にまごころの家で生活していきたいと職員全員思っています。生活面で困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。



寿

まごころ便り第8号をお届けします。

平成24年5月から8月までの様子をお知らせします。詳細をお聞きされた方はサービス付き高齢者向け住宅 介護主任 末富まで

☎ 083-988-1155